

《消化器内科》

はじめに：

当院は地域の中核医療機関の一つであり、福岡市内の救急搬送患者の約 11%を受け入れている。そのため、消化器内視鏡科では、豊富な症例数と検査件数、多種多様な疾患を扱うことができる環境にあり、検査と治療、患者さんを通じて、消化器内科専門医としての専門知識を効率よく修得することが可能である。

特徴：

日本消化器内視鏡学会の指導医 1 名、専門医 3 名の指導のもとで、内視鏡検査、造影検査の理論と技術を修得し、ある一定の段階を踏んで、内視鏡治療の中でも最も高度な手技である ESD の技術の修得まで可能である。当院は日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本内科学会認定内科専門医教育病院であり、当該学会の専門医を取得できる環境にもある。また、担当する疾患は消化器疾患以外に、一般的疾患も担当することが可能である。

当科で修得可能な検査と治療：

【検査】

上下部内視鏡検査、超音波内視鏡検査、消化管造影検査

【治療】

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、内視鏡的粘膜切除術（EMR）

内視鏡的ポリープ切除術（Polypectomy）、内視鏡的止血術

内視鏡的異物除去術、胃瘻造設術、イレウス管挿入、その他

○実績（2009年度）

【検査】

上部消化管内視鏡検査：1720例

下部消化管内視鏡検査：881例

【治療】

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）：16例

大腸ポリープ切除（EMR、ポリペクトミー）：217例

内視鏡的止血術（上部、下部）：70例

内視鏡的異物除去術：10例

内視鏡的胃瘻造設術：97例

内視鏡的胃瘻交換術：66例